

第14回 AI・生成AIの活用に関する総合演習

2026/07/23

1

今回やること

1. レポートの基本的な書き方
2. レポートの作成例
3. 個人レポートの作成

2

1. レポートの基本的な書き方
2. レポートの作成例
3. 個人レポートの作成

1. レポートの基本的な書き方

3

レポートとは

- 決められたテーマに従って、**根拠をもとに**自分の意見や主張を整理したもの。
 - ✓単に意見や感想を書く感想文とは違う。
- 大学の授業の最終的な評価に用いられることもある。
- 書き方は、人によって異なるため、授業担当の先生や指導教員の指示を聞いて書くこと。
- 今回は、一般的なレポートの構成や書き方について学ぶ。

4

レポートの構成

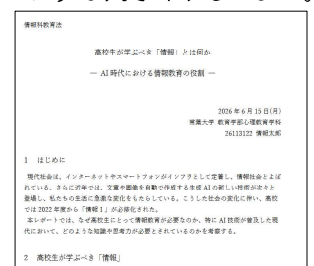
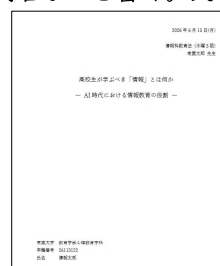
- 表紙、序論、本論、結論、参考文献リストの5項目からなる。
- 一般的に序論10%、本論80%、結論10%のバランスで書く。
- 参考文献リストについては、第7回の引用文献の回でやったことを参考に、書いていく。

5

表紙の書き方

表紙がない場合もある。

- 提出日や授業名、タイトル(サブタイトル)、所属や氏名などを書く。文字サイズは少し大きくするとよい。



6

序論・本論・結論のレイアウト

- 見出しを付けて書く。
 - ✓ 見出しは少し大きくするとよい。
- 段落のはじめは1文字分あける。
- ページ番号も、序論からつける。
 - ✓ 一般的に表紙にはページ番号を付けない。
- 「だ・である」を使う。
- 句読点は統一する。
 - ✓ 「。、」か「. , 」

1 はじめに

情報社会は、インターネットやスマートフォンがインフラとして定着し、情報社会とよばれている。さらに近年では、文書や画像を自動で生成する生成AIの新しい機能が次々と登場し、私たちの生活に大きな変化をもたらしている。その一方で、AI技術の普及に伴い、実際には2022年度から「情報1」が必修化された。

本レポートでは、なぜ高校生にとって情報教育が必要なのか、特にAI技術が普及した現代において、どのような知識や思考力が必要とされているのかを考察する。

2 高校生が学ぶべき「情報」

2.1 「情報」を学ぶ本意の目的

情報教育の目的は、単にパソコンの使い方のソフト・テーマの操作の仕方を変えることではない。最も重要なのは、コンピュータの仕組みやアルゴリズムを理解し、論理的に問題を解く「デジタルリテラシー的思考」を身につけることである[1]。これからの社会では、以下の3つの力が特に求められる。

- 問題解決能力の育成: 日常生活や社会の問題を、データを用いて科学的に分析し、最適な解決策を導き出す力。
- 情報セキュリティの理解: SNS上のプライバシー（個人情報）に關するに、情報の漏洩を防ぐための対策、安全に活用する力。

7

序論・本論・結論の内容

- 序論
 - ✓ レポートのテーマや目的、前提知識を書く。
 - ✓ なぜそのテーマでレポートを書くのかなど。
- 本論
 - ✓ 序論で提起した問題について論述する。
- 結論
 - ✓ 全体の内容をまとめて、考察する。
 - ✓ 今後の展望などについても言及するとよい。

8

見出しについて

- 大きい順に、以下のような名前が付く
 - ✓ 部、章、節、項
- 基本的には、章から下が使われる。
- レポートでは、序論(1章)、本論(2,3章)、結論(4章)などのスタイルが多い。
 - ✓ 本論を1つの章にまとめて、節で区切るパターンもある。
 - ✓ 内容が大きく変わる場合には、節で区切るとよい。

9

参考文献のレイアウト

- 第7回の引用文献の回でやったことを参考に書く。

参考文献

- [1] 東京文部科学省 (2025)『これからの情報教育のあり方について』東京出版
- [2] 情報次郎 (2026)『高校生のためのAIとアルゴリズム入門』東京新書

10

レポートの書き方

アウトラインが完成すれば、8割終わっているようなもの

1. テーマを確認する。
 - ✓ 出されたテーマやレポートの要件を確認する。
2. 書く内容をなんとなく決める。
 - ✓ 本やWebページで学びながら、書く内容を固める。
 - ✓ どんな文献をもとにしたのか、メモしておく。
3. アウトラインを作成する。
 - ✓ 見出しや各見出しで書くことを、箇条書きでよいので書いてみる。
4. アウトラインに基づいて、レポートを書く。

11

1. レポートの基本的な書き方
2. レポートの作成例
3. 個人レポートの作成

2. レポートの作成例

12

レポートのテーマ

- テーマ
 - ✓ SNSにおける情報漏洩のリスクと大学生が取るべき対策
- 要件
 - ✓ 表紙なし
 - ✓ 個人情報漏洩の事例を1つ取り上げ、大学生が取るべき対策について論じなさい。

13

事例の検索

- 「SNS 情報漏洩 事例」でニュースを検索した。
 - ✓ 以下のニュースがヒットした。
 - ✓ 2026年4月29日、西日本シティ銀行・下関支店勤務の女性行員が、「BeReal」で支店執務室内を撮影し、投稿した動画が、SNSで拡散された。
 - ✓ 動画には、顧客情報や業務目標が映りこんでおり、銀行名、支店名が特定された。
- 出典は、福岡TNCニュースである。
 - ✓ <https://news.tnc.co.jp/news/articles/NID2026043030177>

14

対策

- 情報セキュリティや情報倫理に関する問題である。
- これまで学んできた内容としては、以下が関連する。
 - ✓ ソーシャルエンジニアリング
 - ✓ 個人情報
- こういった事項について、しっかり知識を得ることが重要である。
- 投稿する写真・画像については、そのようなリスクがないか精査する必要がある。

15

アウトラインの作成(1)

表題：SNSによる企業情報の流出と大学生からできる対策
1. はじめに

- 大学生にとって、SNSは重要なコミュニケーションツール。
- 一方で、情報漏洩に関する事件もある。
- このレポートでは、情報流出の事例を提示し、大学生が取れる対策を示す。

16

アウトラインの作成(2)

- 2. 情報漏洩の実例とその対策
- 2.1 西日本シティ銀行による情報漏洩の実例
 - 2026年4月29日、西日本シティ銀行・下関支店勤務の女性行員が、「BeReal」で支店執務室内を撮影し、投稿した動画が、SNSで拡散された。
 - 動画には、顧客情報や業務目標が映りこんでおり、銀行名、支店名が特定された。
 - 西日本シティ銀行は顧客に対して謝罪を行った。

17

アウトラインの作成(3)

- 2.2 情報漏洩に対して、大学生が行える対策
 - 技術的な対策だけでなく、人的な対策が重要。
 - 個人情報の大切さや、情報漏洩のリスクについて学ぶ。
 - SNSに投稿する際には、個人情報や情報漏洩に繋がる情報が入っていないかを確認する。
 - アルバイト中は、私的な用事でスマートフォンを使用しない。

18

アウトラインの作成(4)

- 3. おわりに
- このレポートでは、西日本シティ銀行の事例を示した。
- 大学生が行う対策としては、以下が考えられる。
 - ✓ 情報倫理などを学ぶ。
 - ✓ SNSに投稿する際などは学んだことを生かす。

19

レポートを作成する

- アウトラインの箇条書きを、実際に文章にする。
 - ✓ 話し言葉ではなく、書き言葉を使う。
 - ✓ 適度に句読点(「、。」もしくは「, .」)を付ける。
- その文章が伝わる文章か、周りの人に読んでもらってもよい。
- 必要であれば、図や表なども追加する。
- 実際に「レポート例.pdf」を開いて、アウトラインからレポートを起こしたものを確認する。

20

- 1. レポートの基本的な書き方
- 2. レポートの作成例
- 3. 個人レポートの作成

3. 個人レポートの作成

21

レポート作成

- テーマ
 - ✓ 大学における生成AIの有効な活用法と、それに伴う倫理的・セキュリティ的課題
- 上記のテーマから、自分なりのサブテーマを設定し、レポートを作成してください。
 - ✓ 例：ハルシネーション、個人情報、著作権など。
- 先ほどのレポートの例と同じような構成でもいいです。
 - ✓ 事例+対策のような感じ。
- 生成AIの使用は許可しますが、丸写し(コピペ)は禁止です。

22

演習：個人レポートの作成

演習

- 1. UNIPAからxxxx_l4.docxをダウンロードする。
 - ✓ xxxx部分を学籍番号に変更すること。
- 2. 演習に従い、個人レポートのアウトラインを作成すること。
 - ✓ サブテーマを決定する。
 - ✓ 各章のタイトルを決める。(後で変更してもよい。)
 - ✓ 扱う実際の事例や引用文献などを書く。(後で変更してもよい。)
- 3. アウトラインをもとにレポートを作成する。
 - ✓ ファイル名は、「xxxx_個人レポート.docx」とする。

23

次回予告

- 次回は、20分ほど個人でレポートを作成する時間を設けます。
- その後、50分でグループに分かれて共有してもらいます。
 - ✓ 次回で終わるか不安な人は、事前にレポートに取り組んでおきましょう。
 - ✓ 次回はグループワークのため、**座席を指定します**。
 - ✓ 評価の観点については、事前に共有します。
 - ピアレビューの例.pdf

24

おわりに

- UNIPAの情報リテラシー I の第14回の課題として以下のファイルを提出してください。
 - ✓ 「xxxx(学籍番号)_14.docx」
 - ✓ 期限は2026/07/28(火) **16:00**まで。
 - 昨日の課題と合わせて提出すること。
- PCをシャットダウンしましょう。